

# 平成22年度事業報告書

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 3 月 31 日

# I. 総会、理事会、企画会議

## (1) 定期総会 <5月20日>

- ① 平成21年度事業報告について
- ② 平成21年度決算報告について
- ③ 新公益法人制度への対応(案)について
- ④ 会員種別の新設(案)について
- ⑤ 平成22年度事業計画(案)について
- ⑥ 平成22年度収支予算(案)について
- ⑦ 理事の選任(案)について

## (2) 第1回理事会 <5月20日>

- ① 入会について
- ② 理事の選任(案)について
- ③ 平成21年度事業報告について
- ④ 平成21年度決算報告について
- ⑤ 新公益法人制度への対応(案)について
- ⑥ 会員種別の新設(案)について
- ⑦ 平成22年度事業計画(案)について
- ⑧ 平成22年度収支予算(案)について

## (3) 第2回理事会 <7月27日>

- ① 理事・監事の選任(案)について
- ② 入会、退会について
- ③ 平成22年度第1四半期事業報告について
- ④ 平成22年度第1四半期収支報告について
- ⑤ 平成23年度税制改正要望について
- ⑥ SC経営士会からの提言について

## (4) 第3回理事会<10月26日>

- ① 入会、退会について
- ② 第5期SCアカデミーの実施(案)について
- ③ 第36回日本SC全国大会の日程(案)について
- ④ 定款変更(案)について
- ⑤ 公益目的支出計画について
- ⑥ 平成22年度上半期事業報告について
- ⑦ 平成22年度上半期収支報告について
- ⑧ 理事の選任(案)について

(5) 第4回理事会<平成23年3月29日>

- ① 入会、退会について
- ② 新公益法人制度における、定款変更案及び公益目的支出計画案について
- ③ 第5回日本SC大賞、第3回地域貢献大賞の選考について
- ④ 平成22年度事業活動総括、平成23年度事業計画(案)について
- ⑤ 平成22年度収支見込み、平成23年度収支予算(案)について
- ⑥ 第39回定期総会の開催について
- ⑦ 会費区分等の見直しに基づく会費制度(案)について
- ⑧ 東日本大震災に対する協会の対応の1つとして以下の提案があり、承認された。
  - a. 3月22日から4月28日を受付期間として会員の皆様から義援金を募り、日本赤十字社を通じて被災地にお届けすることとする。
  - b. SC協会としてお見舞金1,000万円を日本赤十字社を通じて被災地に寄贈する。(3月31日に寄贈した)

※平成23年度の事業計画については、東日本大震災の影響を鑑みた修正案を、次回の理事会に提案することとなった。

(6) 第1回企画会議 <4月26日>

- ① 理事の選任(案)について
- ② 入会、退会について
- ③ 平成21年度事業報告について
- ④ 平成21年度決算報告について

(7) 第2回企画会議 <7月27日>

- ① 理事・監事の選任(案)について
- ② 入会、退会について
- ③ 平成22年度第1四半期事業報告について
- ④ 平成22年度第1四半期収支報告について
- ⑤ 平成23年度税制改正要望について
- ⑥ SC経営士会からの提言について

(8) 第3回企画会議 <10月18日>

- ① 入会、退会について
- ② 第5期SCアカデミーの実施(案)について
- ③ 第36回日本SC全国大会の日程(案)について
- ④ 定款変更(案)について
- ⑤ 公益目的支出計画について
- ⑥ 平成22年度上半期事業報告について
- ⑦ 平成22年度上半期収支報告について
- ⑧ 理事の選任(案)について
- ⑨ SC経営士会からの提言について

(9) 第4回企画会議 <平成23年3月14日>

※下記議題で開催を予定していたが、東日本大震災の影響により中止となり、議長一任とした。

- ① 入会、退会について
- ② 新公益法人制度における、定款変更案及び公益目的支出計画案について
- ③ 第5回日本SC大賞、第3回地域貢献大賞の選考について
- ④ 平成22年度事業活動総括、平成23年度事業計画(案)について
- ⑤ 平成22年度収支見込み、平成23年度収支予算(案)について
- ⑥ 第39回定期総会の開催について
- ⑦ 会費区分等の見直しに基づく会費制度(案)について

## II. 支部活動報告

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

支部名	活動報告
北海道支部	(1) 支部総会・講演会(平成23年3月25日) ※中止 (2) 運営委員会(平成23年2月22日) (3) 支部セミナー(4月9日) (4) ロープレ北海道支部大会(10月21日、札幌プラニスホール) (5) 北海道万引防止ウィーブネットワーク定期総会出席(5月)
東北支部	(1) 支部総会・講演会(平成23年2月4日) (2) 運営委員会(6月22日、9月14日) (3) ロープレ東北支部大会(11月24・25日、ホテルメトロポリタン仙台) (4) 研修会 ロープレ事前研修(9月14日) (5) 秋の懇親会・懇親ゴルフ大会(10月5・6日)
関東・ 甲信越支部	(1) 支部総会・講演会(平成23年3月24日) ※中止 (2) 運営委員会(6月11日、12月8日、平成23年3月24日※中止 ) (3) 研修会 ロープレ事前研修(7月23日) (4) ロープレ支部大会 ・東京地区(9月28～30日) ・関東・甲信越地区(9月14～17日) (5) 親睦ゴルフ大会(平成23年3月26日) ※中止 (6) SC見学会(11月25日)
中部支部	(1) 支部総会(平成23年3月10日) (2) 運営委員会(5月26日、9月15日、平成23年3月10日) (3) セミナー及び講演会(11月12日、平成23年3月10日) (4) ロープレ中部支部大会(10月19・20日 ウィンクあいち)
近畿支部	(1) 支部総会(平成23年3月18日) ※中止 (2) 運営委員会(7月12日、10月5日、平成23年3月18日※中止) (3) ロープレ実行委員会(10月12日) (4) ロープレ近畿支部大会(10月26～28日 ホテル京阪京橋) (5) ディベロッパー部会(4月7日、6月23日、11月10日) (6) テナント部会(6月16日、12月1日) (7) SC経営士会近畿ブロックとの研究会(4月8日、7月26日、11月22日) (8) 支部主催「SCフォーラム」(平成23年3月18日) (9) SC環境対策セミナー(9月24日) (10) SC経営士会近畿ブロック共催セミナー(平成23年2月9日)
中国・四国支部	(1) 支部総会(平成23年3月7日) (2) 運営委員会(7月26日、10月29日、平成23年3月7日) (3) セミナー、懇親会(平成23年3月7日) (4) ロープレ中国・四国支部大会(11月5日 広島YMCAホール)
九州・沖縄支部	(1) 支部総会(平成23年3月17日) ※中止 (2) 運営委員会(7月15日、平成23年3月17日※中止) (3) 研修会・懇親会(7月15日、平成23年3月17日) (4) ロープレ九州・沖縄支部大会(11月17・18日 西鉄ホール)

### Ⅲ. 委員会事業報告

#### 1. 総務委員会

##### 1. 委員会開催状況および審議事項

###### (1) 第1回委員会<4月26日>

- ① 理事の選任(案)について
- ② 入会、退会について
- ③ 平成21年度事業報告について
- ④ 平成21年度決算報告について
- ⑤ 協会の活動状況について

###### (2) 第2回委員会<7月16日>

- ① 理事・監事の選任(案)について
- ② 入会、退会について
- ③ 平成22年度第1四半期事業報告について
- ④ 平成22年度第1四半期収支報告について
- ⑤ 平成23年度税制改正要望について
- ⑥ SC経営士会からの提言について

###### (3) 第3回委員会<10月7日>

- ① 入会、退会について
- ② 第5期SCアカデミーの実施(案)について
- ③ 第36回日本SC全国大会の日程(案)について
- ④ 定款変更(案)について
- ⑤ 公益目的支出計画について
- ⑥ 平成22年度上半期事業報告について
- ⑦ 平成22年度上半期収支報告について
- ⑧ 理事の選任(案)について
- ⑨ SC経営士会からの提言について

###### (4) 第4回委員会<3月11日>

※下記議題で開催を予定していたが、東日本大震災の影響により中止となり、委員長一任とした。

- ① 入会、退会について
- ② 新公益法人制度における、定款変更案及び公益目的支出計画案について
- ③ 第5回日本SC大賞、地域貢献大賞の選考について
- ④ 平成22年度事業活動総括、平成23年度事業計画(案)について

- ⑤ 平成22年度収支見込み、平成23年度収支予算（案）について
- ⑥ 第39回定期総会の開催について
- ⑦ 会費区分等の見直しに基づく会費制度（案）について
- ⑧ SC協会40周年事業の検討について

## 2. 会員委員会

### 1. 委員会開催状況および審議事項

#### (1) 第1回委員会<6月25日>

- ①委員の交代について
- ②会員の入退会について
- ③会員獲得のための活動について
  - ・今年度目標 950社 120事業所のために、より積極的な入会依頼と幅広い協会PRを行う。
  - ・新設種別会員については、「冠講座」担当教授、諸団体にピンポイントでアプローチを行う。
- ④会員サービスの充実について
  - 協会 Web サイト内「会員のページ」欄に、業種別検索システムと自社 PR が出来る「会員企業検索システム」実施の決定。
- ⑤会費区分額の見直しについて
- ⑥その他

#### (2) 第2回委員会<9月27日>

- ①委員交代について
- ②会費区分等の見直しについて(小委員会での結果報告から)
  - a. 第一種正会員の年会費について
    - ・地方の単館 SC (10,000 m<sup>2</sup>) の取り扱いについて
    - ・政令指定都市の取り扱いについて
    - ・PM企業の取り扱いについて
    - ・会費区分(面積)の取り扱いについて
  - b. 第2種正会員会費区分(店舗数)の見直しについて
  - c. 賛助会員の入会金について
  - d. その他(継続審議事項)
    - ・現在の上限 SC 面積 50,000 m<sup>2</sup>以上の区分を見直す。
    - ・様々な形態が混在している PM 企業については、PM の定義を明確にした上で、PM 企業の会費区分を再検討する。
  - e. 変更後の会費区分等について(まとめ)
- ③入退会について
- ④会員獲得のための活動について
- ⑤会員企業検索システムについて
  - 実際にシステムを確認し、今後は、入会メリットの大きな PR ポイントのひとつとしていく。

#### (3) 第3回委員会<12月20日>

- ①入退会について
  - a. 会員の入退会について
  - b. 施設・事業所会員の入退会について
- ②懸案事項の審議について
  - a. 地方の単館SC(5,000m<sup>2</sup>以上10,000m<sup>2</sup>未満)について
  - b. PM企業の定義等について
- ③会員獲得活動について
- ④会員企業検索システムについて
- ⑤平成23年度の基本方針案について

- (4) 第4回委員会<3月9日>
- ①平成22年度事業報告および収支見込みについて
  - ②入退会について
  - ③平成23年度会員委員会基本方針案について

- (5) 第1回小委員会<7月6日>
- ①会費区分額の見直しについて
    - a.地方の単館SCの会費額について
    - b.政令指定都市の取り扱いについて
    - c.賛助会員の入会金について
    - d.PM企業の取り扱いについて
    - e.第1種正会員の会費額の見直しについて
    - f.第2種正会員会費額の見直しについて

- (6) 第2回小委員会<9月3日>
- ①第一種正会員の年会費について
    - a.地方の単館SCの会費額について
    - b.政令指定都市の取り扱いについて
    - c.PM企業の取り扱いについて
    - d.第1種正会員の会費額の見直しについて
  - ②第2種正会員会費額の見直しについて
  - ③賛助会員の入会金について
  - ④その他

## 2. 主な活動報告

### (1) 会員の入退会について

入会 75 社(21 年度 73 社 前年度比プラス 2 社)、退会 89 社(21 年度 123 社 前年度比△34 社)と、年度末目標会員数の 950 社には届かなかった。

2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日

会員種別	期首	入会	退会	会員数	増減
第一種正会員	373	5	24	354	△19
第二種正会員	345	26	39	332	△14
賛助会員	234	44	26	252	18
合計	952	75	89	938	△14

【参考】年度別入退会数

年度		計			
		期首	入会	退会	期末
2000年度	平成12年度	957	58	88	927
2001年度	平成13年度	927	165	87	1005
2002年度	平成14年度	1005	132	93	1044
2003年度	平成15年度	1044	88	96	1036
2004年度	平成16年度	1036	67	75	1028
2005年度	平成17年度	1028	73	71	1030
2006年度	平成18年度	1030	54	74	1010
2007年度	平成19年度	1010	72	65	1017
2008年度	平成20年度	1017	82	97	1002
2009年度	平成21年度	1002	73	123	952
2010年度	平成22年度	952	75	89	938

(2)施設・事業所会員の入退会について

2社7事業所が入会、1事業所が退会し、現在17社107事業所となった。

(3)会員区分等の見直しについて審議、検討し総務委員会へ提案。その後理事会で承認され、来年度定期総会で諮ることが決まった。

(4)新しい会員サービスとして10月より協会のWebサイト内に会員企業検索システム立ち上げ、賛助会員からサービスを開始した。

【システム内容】

CO<sub>2</sub>削減、ゼロエミッション、接客指導、ロールプレイングなどのキーワードを検索画面に入力すると、そのキーワードを含む会員企業一覧が表示され、さらにPRページにとぶシステム。

PR本文は会員企業に作成していただき、随時最新情報に更新する。

また検索は都道府県(本社所在地)を限定することも可能とする。

## 2010 年度入退会一覧

(1) 入会企業一覧 75 社

(入会月順)

第一種正会員 5社		
株東京ビッグサイト (三菱地所リテールマネジメント株)	中部国際空港(株) (ジェイアールセントラルビル株)	東レエンタープライズ株
プレミア・インターナショナル株 (織研新聞社)	株ユニチカリアルティ	
第二種正会員 26 社		
株ティー・アンド・エイチコーポレーション(株フェスタ)	株オレンジマート	株ベイビーオアシス
株フードコスメ (株セントラルパーク)	株ルミネアソシエーツ (岩崎相談役)	株共同工業
コーチ・ジャパン合同会社	株レントス	株ベストライフ
株静岡パブリック・リレイション (株ワック)	合資会社ムーン・ストーン・シスターズ (株イクスピアリ)	株WAVE International (株ルミネ)
株バディーズ	伊東商業開発株	株ナイス企画
株東急ストア (東京急行電鉄株)	株丹京 (株RBK)	株馬里奈
株カメガヤ	株ホイッスル三好	ユーシーシーフードサービスシステムズ株
タカナシフード株	日本セルフメディカル株	心齋橋筋商店街振興組合 (株玉屋)
株和真 (株三陽商会)	株白謙蒲銚店 (仙台ターミナルビル株)	
賛助会員 44 社		
東京電力株 (三菱地所株)	株小田急エージェンシー	株ティービーアイ(海外ショッピングセンター研究所)
飯村 博(SC経営士)	株プロサーチ	株ギャルドユウ・エス・ビイ(東日本旅客鉄道株)
株インサイト	株ユリーカ(岩崎相談役)	株ザムザ
株ディンプル	松田 祐之(文化女子大学服装社会学研究室)	ロイ・ラーク(立教大学)
田中 義弘 (SC経営士)	株クレセントスタッフ	森井 照和(SC経営士)
金多 隆(京都大学)	田中 正郎(青山学院大学)	株MS&Consulting

福田 敦(関東学院大学)	一般社団法人日中経済貿易センター	(株)ランドブレイン(渡邊泰光)
酒井 嘉昭(日本大学)	伊藤忠ファッションシステム(株)	東邦ガス(株)(ジェイアールセントラルビル(株))
コマニー(株)	Sn プロパティーマネジメント(株)	彦坂 裕(千葉大学)
(株)グリーンディスプレイ	キューブ環境開発(株)	増田 敬彦(大阪大学)
SEC エレベーター(株)	西武トラベル(株)	ヘンドリック マイヤーオーレ(シンガポール国立大学)
(株)遠藤照明(株)ルミネ	エイシン産業(株)	(株)藤田建装
白川 富章(SC 経営士)	(株)放送出版プランニングセンター 東京支社	関西電力(株)
(有)アズボックス	森田 俊堯(SC経営士)	村橋 保春(SC経営士)
(株)JEDI(森田 俊堯)	池澤 威郎(SC 経営士)	

## (2) 退会企業名一覧 89社

第一種正会員 24 社		
池袋ターミナルビル(株)	広島ステーションビル(株)	(株)舞浜コーポレーション
九州産交ランドマーク(株)	名古屋ターミナルビル(株)	(株)第一ビルディング
(株)きんえい	(株)タカチホ	新潟地下開発(株)
(株)田園都市未来新田	(協)岡崎ショッピングセンター	(株)中央住宅
(株)深谷上柴ショッピングセンター	(株)コスモスイニシア	(株)ジョイント・モールマネジメント
(同)西友	(株)パシフィカ・モールズ	(株)新大阪ステーションストア
(株)サザンモール六甲	(株)サンモール	(株)鳥羽ショッピングプラザ
(協)大網白里ショッピングセンター	(株)アップル	米子近代開発(株)
第二種正会員 39 社		
(株)大村商事	(株)ハローズ	ファンタジーリゾート(株)
(株)AOKI	(株)アンヌモネ	マリング商事(株)
(株)エル・ターミナル	(株)ソユー	(株)トニーアンドガイジャパン
日 活(株)	(株)京樽	(株)井筒屋
(株)石焼ビビンパ	(株)ハドソン	(株)ミヤコ
(株)ヤマノホールディングス	(株)イー・エフ・オー	三 喜(株)
(株)幸楽苑	(株)夢や	(株)ナイガイ・イム
ハーゲンダッツジャパン(株)	(株)ニトリ	(株)ユナイテッド・フレグランス・オグ・インターナショナル

ペッカリイ(株)	(株)赤ちゃん本舗	フレンドシップ(有)
(株)M&A オークション	(株)オカダヤ	ボンボンウォッチジャパン
フォンテーヌ(株)	三吉屋食品(株)	(株)カプコン
(株)ブルーグラス	チェルト(株)	(株)北海道ジェイ・アール・フーズ
(株)サム&カンパニー		
賛助会員 26 社		
(株)藤居事務所	(株)エーピーオー・ネットワーク	大和不動産鑑定(株)
オリックス・アルファ(株)	(株)アイシーエム企画	本田 陽三
(株)S. P. 2	(株)NTT データ経営研究所	(株)日本旅行
ふえいす	(株)佐藤渡辺	(株)ジェイアール東海エージェンシー
(株)笑顔アメニティ研究所	伊藤忠都市開発(株)	マッキンゼー・アント・カンパニー・インク・ジャパン
加瀬 徹幸	(株)高速オフセット	峰内 陽次
(株)フェスタ	(株)フジタカ	(株)INA新建築研究所
(株)アゴラ	(株)プロサーチ	コクヨストアクリエーション(株)
近藤 健一	(株)ストリーム	

## 3. 公共政策委員会

### 1. 委員会開催状況および審議事項

(1) 第1回委員会<7月6日>

①報告事項

- ・前回委員会議事結果
- ・第38回定期総会報告

②議案

- ・新任委員の委嘱
- ・平成 23 年度税制改正要望及びSC関連税制の研究
- ・SCのリスクマネジメント研究
- ・地域貢献ガイドラインのフォローアップ
- ・国際会計基準などにおけるSCに係る制度変更(例えば、ポイントの会計処理や引当金強化)の研究と啓蒙

(2) 第1回・第2回税制小委員会<5月28日・6月17日>

- ・平成 23 年度税制改正要望書の作成

(3) 第2回委員会<10月13日>

① 報告事項

- ・前回委員会議事録
- ・平成 23 年度税制改正要望書の提出

② 議案

- ・リスクマネジメント小委員会、税制小委員会の進捗状況について
- ・国際会計基準などにおけるSCに係る制度変更(例えば、ポイントの会計処理や引当金強化)の研究と啓蒙
- ・その他(各種公共政策対応について)

(4) 第1回リスクマネジメント小委員会<11月17日>

- ・今年度研究するSCにおけるリスク項目の抽出

(5) 第3回税制小委員会<11月18日>

①議題

平成 24 年度税制改正要望について-1-

②意見交換

- ・テーマ:我が国税制の基本的考え方
- ・講師:川田 剛氏(明治大学大学院グローバルビジネス研究科教授)

(6) 第3回委員会<12月17日>

①報告事項

- ・前回委員会議事録

②議案

- ・リスクマネジメント小委員会、税制小委員会の進捗状況について
- ・国際会計基準などにおけるSCに係る制度変更(例えば、ポイントの会計処理や引当金強化)の研究と啓蒙
- ・地域貢献ガイドラインのフォローアップのためのアンケートの実施

- (7) 第4回税制小委員会<2月22日>  
・平成24年度税制改正要望について-2-
- (8) 第2回リスクマネジメント小委員会<2月23日>  
・ショッピングセンター(SC)におけるリスクマネジメント・ガイドラインその1(仮称)について
- (9) 第4回委員会<3月2日>
- ① 意見交換
    - ・テーマ:「地域振興と産業創出」
    - ・講師:廣常 啓一氏(株新産業文化創出研究所 代表取締役所長)
  - ② 報告事項
    - ・前回委員会議事録
    - ・平成22年度公共政策委員会事業総括と収支見込
  - ③ 議案
    - ・リスクマネジメント小委員会、税制小委員会の進捗状況について
    - ・公共政策委員会平成23年度基本方針及び事業計画(案)
    - ・公共政策委員会平成23年予算(案)

## 2. 主な活動報告

- (1) 平成23年度税制改正要望書の作成と提出  
平成23年度税制改正について政府税調などに要望するため、その内容について小委員会を設置し、委員会として取りまとめを行った。企画会議(7月16日)、理事会(7月27日)の承認後、経済産業省(7月30日)に提出した。
- (2) 地域貢献ガイドラインに関するフォローアップについて  
平成21年3月に取りまとめを行った「地域貢献に関するアンケート」結果をもとに、「地域貢献ガイドラインのフォローアップ結果-平成22年度-」を経済産業省に報告すると共に、協会HPで広報した。
- (3) 平成24年度税制改正要望のとりまとめ、及び、税制研究について  
平成24年度税制改正について経済産業省・国土交通省に業界の要望を提出するため、要望の方向性について研究を行った。
- (4) SCにおけるリスクマネジメントの研究、及び、ガイドライン作成について  
リスクマネジメント小委員会では、SCのマネジメント層を対象としてSCの営業管理上発生するリスクの内、特に情報漏洩(個人情報保護法、情報セキュリティ)について「ショッピングセンター(SC)におけるリスクマネジメント・ガイドラインその1(仮称)」の取りまとめを行った。
- (5) その他公共政策対応
- ・大店立地法届出情報の広報(協会HPに毎月掲載)
  - ・テロ対策東京パートナーシップ推進会議への参画(警視庁)
  - ・東京万引き防止官民合同会議への参画(警視庁)
  - ・大規模防火対象物の防火安全対策のあり方に関する検討部会への参画(総務省消防庁)
  - ・経済産業省と流通団体の定例懇談会への参画(経済産業省)
  - ・流通・サービス産業年金制度等改革検討協議会への参画(流通・サービス産業団体)
  - ・視覚・聴覚障害者の安全性・利便性に関する調査研究ワーキングへの参画(国土交通省)
  - ・国・自治体等からの周知依頼等の情報を会員に提供

## 4. 環境対策委員会

### 1. 委員会開催状況および審議事項

#### (1) 第1回委員会<7月9日>

- ① 報告事項
  - ・平成21年度第5回委員会審議結果
  - ・第38回定期総会報告
- ② 議案
  - ・新任委員の委嘱
  - ・平成21年度SCエネルギー量調査の実施とCO2削減目標の進捗状況の把握
  - ・CO2削減などSC環境対策の具体的手法を会員に提供
  - ・SC省エネ無料簡易診断の拡充
  - ・啓蒙セミナーの実施

#### (2) 第2回委員会<10月13日>

- ① 環境省と意見交換
  - ・環境省におけるマイボトル・マイカップ推進キャンペーンの趣旨概要、本年度3つの大学で行った実証実験結果などを中心として
- ② 報告事項
  - ・平成22年度第1回委員会議事録
  - ・環境対策セミナーの開催
- ③ 議案
  - ・新任委員の委嘱
  - ・平成21年度SCエネルギー量調査の実施とCO2削減目標の進捗状況の把握
  - ・資源エネルギー庁業務部門のベンチマーク・ラベリング制度に関する研究会について
  - ・第35回SC全国大会「ビジネスフェア」への協力

#### (3) 第3回委員会<11月17日>

- ・「業務部門におけるベンチマーク・ラベリング制度に関する研究会」(資源エネルギー庁)との意見交換会

#### (4) 第4回委員会<12月14日>

- ① 報告事項
  - ・平成22年度第2回委員会議事録
  - ・平成22年度第3回委員会(資源エネルギー庁との意見交換)報告
  - ・環境対策セミナー開催結果
- ② 議案
  - ・平成22年度エネルギー量調査結果報告(中間報告)
  - ・資源エネルギー庁業務部門のベンチマーク・ラベリング制度に関する研究会について
  - ・第35回SC全国大会「ビジネスフェア」への協力

#### (5) 第5回委員会<2月28日>

- ① 報告事項
  - ・平成22年度第4回委員会議事録
  - ・平成22年度エネルギー量調査結果報告及び経済産業省自主行動計画報告
  - ・第35回SC全国大会「ビジネスフェア」開催結果
  - ・平成22年度環境対策委員会事業総括と収支見込
- ② 議案
  - ・新任委員の選出
  - ・平成23年度環境対策委員会基本方針及び事業計画骨子(案)
  - ・平成23年度環境対策委員会予算(案)

## 2. 主な活動報告

### (1) エネルギー量調査について

昨年度に引き続き、経済産業省の自主行動計画参加団体として業界目標であるCO2を5年で5%削減する計画の検証をするために「エネルギー量調査」を8月から実施している。この調査結果を基に「自主行動計画書」を作成し、1/19経済産業省に提出した。

### (2) 啓蒙セミナーの実施

会員各社に環境問題への啓蒙を図る目的で、平成22年度は、3支部(近畿、九州・沖縄、関東・甲信越)と共同で「環境対策セミナー」を実施する予定であったが、関東・甲信越支部は次年度へ繰り越しになり、近畿および九州・沖縄支部にて開催した。

＜環境対策セミナー-近畿支部-＞

- ①日時:9月24日(金)
- ②場所:イオンモール草津(滋賀県)
- ③参加者:27名

＜環境対策セミナー-九州・沖縄支部-＞

- ①日時:10月15日(金)
- ②場所:福岡パルコ(福岡県)
- ③参加者:33名

### (3) 第35回SC全国大会「ビジネスフェア」への協力

#### ①環境対策委員会ブース出展

支部主催環境対策セミナー概要(イオンモール草津、福岡パルコ)と、ユニー(株)の環境に関する取り組みのパネル展示、ビジネスフェア出展企業約 20 社のCSR報告書・環境報告書を展示、配布を行った。

#### ②環境対策委員会所管パネルディスカッション「SCの飲食テナントにおける環境対策」

＜パネリスト＞

(株)グルメ杵屋	商品企画部 部長	島 尚志 氏
東京ガス(株)	エネルギーソリューション本部	
	都市エネルギー事業部 法人営業第二部	門脇 僚平氏
三菱地所(株)	商業施設営業部 副長	綿引 浩之氏

＜コーディネーター＞

ジェイアール東日本ビルテック(株)  
エネルギー本部 エネルギーマネジメント部 部長 山本 雄二氏

聴講者人数:165名

### (4) 政府施策への要望と協力

- ①「平成22年度サプライチェーンにおける温室効果ガス排出量算定方法調査検討会」(環境省)への参画
- ②「業務部門におけるベンチマーク・ラベリング制度に関する研究会」(資源エネルギー庁)への参画
- ③「エコストア研究会」(経済産業省)への参画

### (5) 環境関連情報の提供(会員向け)

## 5. 人材育成委員会

### 1. 委員会開催状況および審議事項

#### (1) 第1回委員会<4月14日>

- ①副委員長を1名選任し、副委員長2名体制とした。
- ②セミナー企画案(7~9月実施予定)が承認された。
- ③海外研修企画案(9月実施予定中国SC視察研修ツアー)については、訪問都市は北京・上海で承認された。
- ④インターンシップコーディネイト実施案について承認された。

#### (2) 第2回委員会<6月18日>

- ①平成22年度4~5月事業報告及び収支報告が承認された。
- ②セミナー企画案(10~11月実施予定)が承認された。
- ③海外研修企画案(11月実施予定米国東海岸SC視察研修ツアー)については、訪問都市はアトランタ、マイアミ、ニューヨークで承認された。
- ④通信教育のテキスト改訂について承認された。小委員会を設置し、8月より着手する。
- ⑤セミナー企画等に当たりワーキンググループ設置について承認された。
- ⑥次年度冠講座について承認された。  
流通科学大学、立教大学の2校を予定。

#### (3) 第3回委員会<9月13日>

- ①平成22年度4~8月事業報告及び収支報告が承認された。
- ②セミナー企画案(12~3月実施予定)が承認された。
- ③海外研修企画案(3月実施予定ヨーロッパSC視察研修ツアー)については、訪問都市はロンドン及び周辺都市、パリで承認された。
- ④通信教育のテキスト改訂小委員会概要について承認された。
- ⑤第5期SCアカデミー企画案について承認された。
- ⑥次年度冠講座について承認された。

#### (4) 第4回委員会<12月10日>

- ①平成22年度4~11月事業報告及び収支報告が承認された。
- ②テキスト改訂小委員会中間報告が承認された。
- ③第4期SCアカデミー卒業判定について承認された。
- ④平成23年度基本方針案及び事業計画案については一部承認。セミナーについては次回持越し。

#### (5) 第5回委員会<2月21日>

- ①平成22年度4月~平成23年1月事業報告が承認された。
- ②平成22年度事業総括と収支見込みについて承認された。
- ③平成23年度基本方針案及び事業計画案~研修事業案についての再検討~が承認された。
- ④平成23年度予算案が承認された。
- ⑤テキスト改訂小委員会中間報告について承認された。

## 2. 主な活動報告

### (1) 研修会

<セミナー>

年 度	開 催 数	参加者数(実績)	予定参加者数(予算)
22年度	41回	1,511名	1,500名
21年度	55回	1,600名	2,020名

セミナー名	開催日	開催地	参加者数 (実績)	予定参加者数 (予算)
基本管理運営セミナー(2日間)	4/21、22	東京	49	40
<b>4月</b>			<b>49</b>	<b>40</b>
SCにおけるテナント従業員教育セミナー	5/14	東京	22	35
危機管理対策セミナー	5/18	東京	27	35
最新のテナント情報提供セミナー(リーシング担当者)	5/25	東京	51	35
テナントサポート力強化セミナー	5/28	東京	25	35
<b>5月</b>			<b>125</b>	<b>140</b>
SC飲食ゾーン活性化セミナー	6/3	東京	35	35
クレーム対策セミナー	6/9	東京	32	35
テナント会の今後を考えるセミナー	8/9に延期	東京		45
SC駐車場対策セミナー	6/21	東京	42	35
基本開発セミナー(2日間)	6/23、24	東京	29	30
<b>6月</b>			<b>138</b>	<b>180</b>
<b>第1四半期</b>			<b>312</b>	<b>360</b>
最新の海外情報セミナー	7/2	京阪京橋	35	35
SCのCSアップセミナー(ES含む)	7/7	東京	30	35
今後の成長戦略を探るセミナー(中堅向け)	7/15	東京	38	35
SC緑陰トップフォーラム(経営者向け)	7/21、22	未定	78	70
地球温暖化対策セミナー	7/29	東京	75	35
<b>7月</b>			<b>256</b>	<b>210</b>
SC法律セミナー	8/5	東京	41	35
テナント会の今後を考えるセミナー	8/9	東京	31	
①新入社員向け---SC運営の基礎知識	8/19	東京	56	35
②新入社員向け---テナント管理の基礎知識	8/26	東京	58	35
<b>8月</b>			<b>186</b>	<b>105</b>
③新入社員向け---販売促進の基礎知識	9/2	東京	58	35
空きスペース(空き区画)対策セミナー	9/7	東京	43	35
④新入社員向け---出店契約の基礎知識	9/9	東京	70	35

⑤新入社員向け--テナントリーシングの基礎知識	9/21	東京	55	35
<b>9月</b>			<b>226</b>	<b>140</b>
<b>第2四半期</b>			<b>668</b>	<b>455</b>
<b>上半期</b>			<b>980</b>	<b>815</b>
顧客情報活用セミナー	10/5	東京	19	35
テナントミックス再構築セミナー	10/8	東京	11	35
SCの販促・イベントセミナー(2日間)	10/12、13	東京	31	35
秋晴れトップフォーラム(経営者向け)	10/21	東京(外)	67	70
SC出店契約書作成セミナー	10/29	東京	43	35
<b>10月</b>			<b>171</b>	<b>210</b>
最新の海外情報セミナー	12/8に延期	東京		35
SC基本管理運営セミナー(2日間)	11/9、10	京阪京橋	28	30
SCリニューアルセミナー	11/19	東京	42	35
SCアカデミー・スペシャル(中堅向け)	11/24、25	京阪京橋	38	30
<b>11月</b>			<b>108</b>	<b>130</b>
ネット販売・Eコマース活用セミナー	2/10に延期	東京		35
SC危機管理対策セミナー	12/2	東京	17	30
最新の海外情報セミナー	12/8	東京	28	
今後の賃料形態とSCマネジメント(中堅向け)	12/15	東京	72	35
<b>12月</b>			<b>117</b>	<b>100</b>
<b>第3四半期</b>			<b>396</b>	<b>440</b>
ネット販売・Eコマース活用セミナー	2/10	東京	20	
SC契約実務対策セミナー	2/8	東京	34	35
SCにおけるテナント従業員教育セミナー	2/22	東京	42	35
ポイントカード活用セミナー	2/25	東京	38	35
<b>2月</b>			<b>114</b>	<b>105</b>
テナントリーシングセミナー(2日間)	3/10、11	東京	21	35
プロパティマネジメント対策セミナー	3/16	東京	0	35
マネジャー交流セミナー(中堅向け)	3/25	東京	0	35
テナント退店・倒産対応セミナー	3/29	東京	0	35
<b>3月</b>			<b>21</b>	<b>140</b>
<b>第4四半期</b>			<b>135</b>	<b>245</b>
<b>下半期</b>			<b>531</b>	<b>685</b>
<b>年間</b>		<b>41本</b>	<b>1,511</b>	<b>1,500</b>

<海外研修>

年 度	開 催 数	参加者数(実績)	予定参加者数(予算)
22年度	4回	122名	123名
21年度	2回	68名	60名

※21年度は米国東海岸を予定していたが、新型インフルエンザのため11月に延期した。

研修名	開催期日	開催地等	参加者数 (実績)	予定参加者数 (予算)
第113回SC 海外研修	5/23～31 (7泊9日)	ラスベガス、フェニ ックス、ツーソン、ロ サンゼルス	26	23
第114回SC 海外研修	9/20～24 (4泊5日)	北京、上海	40	30
上半期計			66	53
第115回SC 海外研修	11/14～22 (7泊9日)	アトランタ、マイア ミ、ニューヨーク	21	35
第116回SC 海外研修	3/14～21 (6泊8日)	ロンドン、パリ	35	35
下半期計			56	70
合計			122	123

(2) 通信教育

講座名	22年度		21年度	
	受講生数 (実績)	予定数 (予算)	受講生数 (実績)	予定数 (予算)
SC開発講座	152名	125名	117名	180名
SC管理運営講座	326名	320名	286名	450名
合計	478名	445名	403名	630名

(3) テナント必携ハンドブック 270冊(予算 180冊 21年度実績 393冊)

(4) サポート関連 実施数237件(予算220件 21年度実績268件)

(5) SCアカデミーについて

- ①4月8日に、第4期開講式をアイビーホール(東京・青山)で開催した。来賓として経済産業省の高橋流通政策課長を招き、前田副会長、奥住相談役、講師陣、受講生、受講生派遣企業など約120名の方々が出席した。
- ②第4期は、4月15日、16日の合宿研修(6単元)を皮切りにカリキュラムがスタートした。SC経営論Ⅰ(9単元)、SC経営論Ⅱ(8単元)、SC事業実践論(7単元)、特別研修(6単元)の全36単元の全講義が11月25日に終了した。2月末日までに卒業研究論文を提出された。3月28日に開催された

卒業合否判定会議及び卒論全体会議において38名の卒業が認定され、優秀論文6編が選出された。

(6) 冠講座について

①4～7月まで関西学院大学で実施。9～1月まで青山学院大学で実施。

大学名	テーマ	回数	受講者
関西学院大学	ショッピングセンター概論	14回	約120名
青山学院大学	ショッピングセンター概論	14回	約60名

(7) インターンシップコーディネイトについて

昨年度に引き続き本年度も下記の通り実施した。

文化女子(現 文化学園)、法政、明治の3大学、計9名の学生が、以下の6企業でインターシップを実施するにあたり、コーディネイトを協会が行った。

(株)サンシャインシティ      湘南ステーションビル(株)  
(株)西武プロパティーズ      東京急行電鉄(株)  
三菱地所ビルマネジメント(株) (株)横浜ステーションビル

## 6. 情報委員会

### 1. 委員会開催状況および審議事項

#### (1) 第1回委員会<7月2日>

##### ①以下の件について報告。

- ・平成21年度基本方針・事業計画・事業予算について
- ・第1四半期収支予想

##### ②広報誌『SC JAPAN TODAY』9月号～11月号の特集企画案について討議を行った。

- ・9月号 SCを活性化させるSP&イベント
- ・10月号 SCにおけるリピーター獲得の秘訣とは
- ・11月号 SCグリーンレポート「CO2削減に挑むSC!」

また、「SC情報化システム」、「広報活動」について討議し、以下の項目が了承された。

#### SC情報システム

##### 1) Webサイト

- ・web上データの最新化
- ・ログ解析の実施と解析結果を踏まえた構成内容の見直し
- ・メールマガジン「JCSC NEWS」配信数増加

#### 広報活動

- ・公共政策関連PR強化

#### (2) 第2回委員会<10月8日>

##### ①以下の件について報告。

- ・第1回議事録報告
- ・Webサイトについては変更・更新等について報告
- ・上半期収支予想

##### ②広報誌『SC JAPAN TODAY』12月号～3月号の特集企画案について討議を行った。

- ・12月号 需要収縮・過剰競争時代の“オンリーワン”SCマネジメント
- ・1・2月号 欧州流通事情2011
- ・3月号 第35回日本ショッピングセンター全国大会

##### ③広報誌『SC JAPAN TODAY』及びWebサイトの広告について現状と今後の取り組みを報告。

##### ④広報活動

恒例の会長による記者懇談会について

日程＝2010年12月17日（金）11:00～

場所＝ロイヤルパークホテル（東京都中央区日本橋蛸殻町）

#### (3)第3回委員会<2月7日>

##### ①以下の件について報告した。

- ・第2回議事録報告

・平成22年度委員会事業報告・収支見込み

②平成23年度事業計画(案)・予算(案)について討議を行った。

③広報誌『SC JAPAN TODAY』4月号～7・8月号の特集企画案について討議を行った。

- ・4月号                   インバウンド・カスタマー獲得のために！
- ・5月号                   進化するSCのユーティリティ&サービス
- ・6月号                   ますます多様化する“ターミナル隣接型”SC
- ・7・8月号               SCテナント最前線！

## 2. 主な活動報告

### (1) 広報誌『SC JAPAN TODAY』

SC業界唯一の情報専門誌ではあるが、基本的には会員のための広報誌(会員誌)としての位置付けで今後も編集していく。

#### 月刊誌の発行

2010年4月号	生活のコア施設になるSC
2010年5月号	男のわけあり消費・最前線
2010年6月号	決定!! 日本SC大賞2010・地域貢献大賞2010
2010年7・8月合併号	アジア流通事情2010
2010年9月号	SCを活性化させるSP&イベント
2010年10月号	SCにおけるリピーター獲得の秘訣とは
2010年11月号	SCグリーンレポート「CO2削減に挑むSC!」
2010年12月号	需要収縮・過当競争時代の“オンリーワン”SCマネジメント
2011年1・2月合併号	欧州流通事情2011
2011年3月号	第35回日本ショッピングセンター全国大会

広報誌を安定的に発行するためには収入の安定が欠かせないところであるが、活字不況の影響もあって購読部数が伸び悩んでいる現状の中では広告を増やすことが求められてくる。そこで、広報誌の広告媒体としての特性を広くアピールし、広告集稿活動を積極的に実施した。

### (2)SC情報化

#### ①Webサイト

協会活動の広報、利便性の向上、広告収入増を図るため、以下実施した。

##### 新規

- ・日本SC大賞・地域貢献大賞バナー設置
- ・サイト内検索Google設置
- ・会員企業検索バナー作成

##### リニューアル

- ・「官公庁等からのお知らせ」を一般のページへ移行
- ・会員ページ内、データは「SC情報」に、レポートは「@EYE」に掲載変更
- ・「SCでの買物増減判断指数DI」が一目で分かりやすいように表示変更
- ・Englishのページに「Awards」を設けSC大賞を紹介
- ・アウトレットモール一覧を掲載

##### 広告

- ・東京電力(株)(バナー広告・2010年7月)※月刊誌と合わせての出稿
- ・(株)コマースデザインプロダクト(バナー広告&テキスト広告・2011年1月)

②メールマガジン

配信数増を図るため、ロープレ支部大会エントリー項目にメルマガ配信希望の有無を追加。配信数は、2010年3月29日に配信した第34号の1,689件に比べ、2011年1月27日配信の第44号は2,097件と増えている。

(3) 広報活動

① 今年度に入ってから取材を受けた媒体

1	4月7日	朝日新聞	地域貢献大賞
2	4月8日	NHK	三井アウトレットパーク北広島
3	4月16日	おはよう北海道土曜プラス 4/24放映	三井アウトレットパーク北広島
4	4月28日	MJ5/3 掲載	SC について全般、環境対策
5	5月20日	スクープアップやまぐち 5/21 放映	シーモール 地域貢献大賞受賞
6	5月27日	神戸新聞	アウトレットモール
7	5月27日	ひるおび! 6/7放映	アリオ北砂がらみでSCについて
8	6月2日	潜入!!リアルスコープ	ロープレ (DVD 貸出)
9	6月8日	日経MJ	改正貸金業法
10	6月9日	週刊ダイヤモンド	国際会計基準
11	6月21日	潜入!!リアルスコープ	チェッカーについて
12	6月21日	日経MJ 6/23 掲載	新会員制度について
13	6月23日	NHK	FIFA ワールドカップ
14	6月28日	スーパーニュースアンカー	アウトレットモール
15	7月2日	日経MJ 7/7 掲載	協会人材育成
16	7月12日	Skyward(JAL 機内誌)	アウトレットモール
17	7月2・6日	日経MJ	最近の客層属性
18	7月15日	朝日新聞近畿版 7/26 夕刊 1面	アウトレットモール
19	7月28日	日経MJ	各委員会の進捗状況
20	7月29・30日	真相報道バンキシャ! 8/8 放映	アウトレットモール
21	7月29日	スクール革命	ららぽーと新三郷のメガ盛りフェア
22	8月2日	中日新聞	ロープレ
23	8月5日	毎日放送(TBS 系の番組)	SC と商店街
24	8月10日	日経MJ	空床率
25	8月20日	日経MJ	空床率
26	8月24日	ズームインスーパー	アウトレットモール
27	9月3日	朝日新聞	今後の SC
28	9月7日	長崎新聞	7日オープンの大野モールと長崎県内の SC
29	9月29日	日経ビジネス	SC 賃料の動向
30	12月13日	ニュースエブリデー	食のアミューズメント

31	12月24日	ストア新聞社	SCの売り上げ動向
32	12月28日	日経新聞	SCの環境診断について
33	1月21日	テレビ大阪「カイシャ魂」	BF(近畿日本鉄道ブース)

平成22年度の協会への取材件数は、3月末日現在で33件と前年(年間63件)を大幅に下回った。昨年ほど注目する内容がなかったためと思われる。相変わらずアウトレットモールに関する問い合わせが多いが、それでも半減である(20→9)。また、昨年多かったロープレへの問い合わせが激減した(13→2)。

② ニュースリリース発行状況

- ・ SC販売統計調査報告(月間)
- ・ SCアカデミー修了・開講
- ・ 「SC環境対策ガイドライン」発表
- ・ 「新版ショッピングセンター用語辞典」刊行
- ・ 定期総会(5/20)の案内
- ・ 新会員種別設置
- ・ ビジネスフェア出展者募集案内
- ・ ロープレ支部大会開催の案内
- ・ 新・サービス「会員企業検索システム」開始
- ・ 木村会長による記者懇談会・懇親会
- ・ SC全国大会開催案内
- ・ SC全国大会結果報告
- ・ SC年間販売統計調査報告2010(年間)

※SC販売統計調査報告については、以下の媒体等にて毎月継続的に掲載されている。  
 NIKKEI NET、ロイター通信、織研新聞、商業施設新聞、デパート新聞、デパートニュース、交通新聞、ストアーズレポート、アミューズメント産業、てんぽ流通新聞 他

## 7. 調査研究委員会

### 1. 委員会開催状況および審議事項

#### (1) 第1回委員会<7月8日>

##### ① 報告事項

- ・平成21年度第4回委員会議事録
- ・第38回定期総会報告
- ・各種報告書の販売報告
- ・調査関係

##### ② 議案

- ・販売統計および賃料・共益費調査の改善について
- ・簡易調査(WEB調査)の実施について

#### (2) 第2回委員会<10月12日>

##### ① 報告事項

- ・前回委員会(2010年7月8日)の審議結果報告
- ・各種報告書の販売報告
- ・調査報告

##### ② 議案

- ・販売統計および賃料・共益費調査の改善について

#### (3) 第3回委員会<12月24日>

##### ① 報告事項

- ・前回委員会(2010年10月12日)の審議結果報告
- ・各種報告書の販売報告
- ・調査報告

##### ② 議案

- ・SC情報データベースのクラウド化について
- ・マッピングSCデータファイルの販売価格変更について

#### (4) 第4回委員会<3月11日>

##### ① 報告事項

- ・前回委員会(2010年12月24日)の審議結果報告
- ・調査報告
- ・「SCポイントデータ2011(旧マッピングデータ)」の販売について
- ・平成22年度調査研究委員会事業総括と収支見込

##### ② 議案

- ・平成23年度調査研究委員会基本方針及び事業計画骨子
- ・事業収支と予算案

## 2. 主な活動報告

- (1) SCオープンに関する情報への対応  
オープンSCの情報収集及び一覧表の提供(毎月「SC JAPAN TODAY」、HPに掲載)
- (2) 基本調査、報告書の作成及び提供
  - ① 「SC販売統計調査月間・年間報告書」の作成(毎月 協会 HP 及び「SC JAPAN TODAY」に掲載)
  - ② 「SC白書 2010」の作成(5月、全会員に配布)
    - ・定例掲載項目(SC動向、海外動向、環境関連)に加えて、2010年のSCトピックを掲載した。  
タイトル:「PA・SA、ハイウェイオアシス、道の駅の現状と今後の展開  
～多様化する商業集積開発―道ナカ(ミチナカ)SCの増加～」
    - ・今年度販売冊数 143 冊 (21 年度 181 冊)【前年比 79%】
  - ③ 「SC賃料・共益費 2010」の作成(12月、全会員に配布)
    - ・「総合賃料(賃料・共益費一本化)集計を追加
    - ・昨年に引き続き調査結果についての分析コメント  
(株)矢野経済研究所 ファッション・スポーツ&リテール事業部松井氏執筆)、
    - ・今年度販売冊数 99 冊 (21 年度 108 冊)【前年比 92%】
- (3) SCポイントデータ 2011 の販売
  - ・「全数調査」に基づく総数 3051sc(2010 年オープン含む)のポイントデータを販売した。

## 8. SC 経営士制度委員会

### 1.委員会開催状況および審議事項

#### (1) SC 経営士制度委員会

##### 1) 第 1 回委員会< 6 月 8 日/協会会議室>

- ①副委員長の選任について
- ② SC 経営士試験の一部変更について
- ③ SC 経営士制度全般の見直しについて
- ④「SC 経営戦略—SC マネジメントブック」について
- ⑤ その他

##### 2) 第 2 回委員会< 9 月 30 日/協会会議室>

- ① 資格審査結果と二次試験について
- ② 第 19 期 SC 経営士一次試験問題と解答について
- ③ 第 19 期 SC 経営士試験実施報
- ④ 第 19 期 SC 経営士一次試験結果について
- ⑤ 第 19 期 SC 経営士試験二次試験
- ⑥ 「SC 経営戦略—SC マネジメントブッカー」の改訂について

##### 3) 第 3 回委員会< 12 月 16 日/協会会議室>

- ① 第 19 期 SC 経営士試験合否判定について
- ② SC 経営士補の名称について
- ③ SC 経営士の登録更新について
- ④ SC マネジメントブック改訂について
- ⑤ SC 経営士制度の見直しについて
- ⑥ 平成 23 年度基本方針の方向について
- ⑦ その他

##### 4) 第 4 回委員会< 3 月 3 日/協会会議室>

- ① 平成 23 年度 SC 経営士制度委員の増員について
- ② 平成 23 年度基本方針、事業計画および予算案
- ③ 第 20 期 SC 経営士試験について
- ④ 登録更新講習について
- ⑤ その他

#### (2) 試験実行委員会

##### 1) 第 1 回試験実行委員会< 4 月 30 日/協会会議室>

- ①第 19 期 SC 経営士試験問題について
- ②各科目の問題項目および問題形式と配点について
- ③今後のスケジュールについて
- ④その他

##### 2) 第 2 回試験実行委員会< 6 月 25 日/協会>

- ①第 19 期 SC 経営士試験問題について
  - ・各科目の設問について
  - ・今後のスケジュールについて

- ②問題と解答のチェックと担当（案）について
- ③その他

3) 第3回試験実行委員会<7月27日/協会会議室>

- ①口頭試問について
- ②資格審査について
- ③試験問題と解答の精査について
- ④試験問題作成スケジュールについて

4) 第4回試験実行委員会<9月30日/協会会議室>

- ①第19期SC経営士一次試験実施報告
- ②第19期SC経営士一次試験の解答変更について
- ③第9期SC経営士一次試験結果について
- ④第19期SC経営士試験二次試験(論文)について
- ⑤第19期SC経営士試験二次試験(口頭試問)について
- ⑥来年度以降SC経営士一次試験の問題点と課題

5) 第5回試験実行委員会<12月16日/協会会議室>

- ①第19期SC経営士試験合否判定について
- ②第19期SC経営士試験の問題点と課題について
- ③SC経営士補の名称について

(3) SCマネジメントブック改訂WG

1) 第1回WG<6月25日/協会>

- ①SC経営戦略-SCマネジメントブック-の位置づけ
- ②編集方針と具体的方向性
- ③発行までのスケジュールについて

2) 第2回WG<7月30日/協会>

- ①位置づけの明確化と編集方針の確認について
- ②構成および章の担当について
- ③編集スケジュールについて

3) 第3回WG<8月30日/協会>

- ①SCマネジメントブック改訂の基本視点について
- ②構成および章の担当について
- ③本の体裁など
- ④今後のスケジュールなどについて

4) 第4回WG<10月12日/協会>

- ①基本方針について
- ②構成および章の担当について
- ③スケジュールについて

5) 第5回WG<11月22日/協会>

- ①各章の詳細について
- ②レイアウトについて
- ③スケジュールについて
- ④収支（案）について

#### (4) SC 経営士制度小委員会

##### 1) 第 1 回小委員会<8 月 25 日/協会>

- ①SC 経営士の定義
- ②受験資格
- ③免除科目
- ④ SC 経営士会との関連
- ⑤更新講習のあり方

##### 2) 第 2 回小委員会< 10 月 13 日/協会>

- ①付議事項およびスケジュールについて
- ②SC 経営士定義の見直しについて

##### 3) 第 3 回小委員会< 12 月 22 日/協会>

- ①SC 経営士の仕事に対する考え方
- ②業務における新しい取り組み等 (SC 経営士の実践的役割)

##### 4) 第 4 回小委員会< 2 月 24 日/協会>

- ①SC 経営士定義の見直しについて
- ②受験資格について
- ③免除科目制度について

## 2.主な活動報告

### (1) SC 経営士一次試験の抜本の見直し

より公正で透明な試験を目指し、委員構成および試験問題・解答方法の見直しを行った。解答方法としては記述問題・穴埋め問題を廃止し、マークシート方式を採用。また公益性を高めていくため、協会顧問の野口先生に、試験の監修をお願いした。

### (2) 第 19 期 SC 経営士試験の実施

第一次試験 (9 月 14 日/東京・大阪)、論文、口頭試問 (12 月 6 日/大阪、12 月 14 日/東京)の結果を総合的に検討した結果、第 19 期は 30 名が合格。1 月 19 日 (水) 日本ショッピングセンター全国大会開会式 (1 月 19 日/パシフィコ横浜) において、認定証授与式を執り行った。

受験期別受験・合格者数

		第 19 期	第 18 期	第 17 期
一次試験	申込者数	128	110	126
	受験者数	118	100	115
	合格者数	32	34	33
	合格率	27.1%	34.0%	28.7%
二次試験	受験者数	32	34	33
	合格者	29	31	28
第 16~18 期	一次試験合格者*	1	3	2
	最終合格者	30	34	30

\*一次試験合格者 (旧名称: SC 経営士補) は、受験後 3 年間に限り二次試験から受験できる。  
第 19 期 (2010 年度) SC 経営士試験受験の場合は、第 22 期 (2013 年度) SC 経営士試験までが一次試験合格の有効期間となる。

(3) SC 経営士補の名称について

第3回 SC 経営士制度委員会（12月16日開催）において、SC 経営士補の名称変更を次のとおり変更することが決まり、第4回理事会（3月29日）で報告し承認された。

SC 経営士補の名称について、「〇〇士補」とあるのは公認会計士と不動産鑑定士だけであり、見習いの意味を持つ点などから、今後は「一次試験合格者」とする。

(4) SC 経営士制度の見直し

SC 経営士制度は1992年に発足、その間、経済・消費状況に加え、SC 業界を取り巻く環境も激変した。

それに伴い、SC 経営士合格者の職種・役職の変化、また受験の動機や受験者の年齢も大きく変わり、SC 経営士の定義をはじめ受験資格、試験内容などを見直さざるを得なくなったため、SC 経営士制度小委員会を設置し、次の6項目について検討。2011年12月までに小委員会、SC 経営士制度委員会で検討を重ねて最終案をまとめ、最終的には2012年5月の定期総会での決議を経て、2013年4月より実施することになった。

- ① SC 経営士定義の見直し
- ② 受験資格
- ③ 免除制度と試験内容
- ④ SC 経営士の社会的認知度向上
- ⑤ 合格後のフォロー
- ⑥ SC 経営士会との関連

(5) SC マネジメントブックの全面改訂

2007年（平成19年）6月の発行から時間が経過し、その間経済を中心にSCの経営環境が激変した。その中でもとくに経済や消費構造、地域社会、環境問題、IT化の急速な進展、関連法規等も大きく変化していることで、内容の見直しが必須となったため、SC 経営士制度委員会ではWGを立ち上げ、2011年6月発行を目標として検討を開始した。

また本書は出版事業でなく、SC 業界人にとっての必携の書、手引書としての位置づけであるため、収支均衡で予算を組むことになった。

編集にあたっては、第1章で基本視座（SC マネジメントブックの基本的考え方）について述べ、本全体の基本姿勢を貫く。

# 全国大会推進本部

## 1. 本部会開催状況および審議事項

### (1) 第1回本部会<6月9日>

#### ① 第35回全国大会計画案策定に当たって

下記の提案を行い、承認された。

今回の35回全国大会はシンポジウム・セミナーとビジネスフェアのパワーアップを目指す。そのための具体策として下記のことを実施する。

#### (1)シンポジウム・セミナー実行委員会

##### ①販促を強化する。

従来は企画策定に注力をしてきたが、本年度からは加えて集客策についても審議する。また、会員種別の比率に基づき幅広く委員の増員を行う。

##### ②新規顧客層の開拓を行う。

前回は既述のように商店街、商工会議所、自治体、大学、学生などを対象に販促を実施したが、フォローが不十分だったこともあって14名という結果だった。

今回は、本年度新たな会員種別として設けられたということもあり、大学・専門学校関係(教授、講師など SC 研究者)の個人と、地方自治体、商工会議所、商工会などの団体会員を対象に再度チャレンジをする。

また、参加率が低迷しているテナント会員の参加率を上げる。

##### ③参加料の見直しをする。特にパーティーのみの参加料について検討を進める。

#### (2) SCビジネスフェア実行委員会

##### ①前回、前々回と2回続けて減少している専門店のブース出展募集に注力する。モノからコトへを踏まえて、飲食、サービスを含めて積極的に勧誘する。そのために実行委員、事務局が中心に動くが、他実行委員会の協力もお願いする。

##### ②専門店をはじめ環境関連、あるいは商店街及びまちづくり会社の出展増を図るため、インキュベート企業向けの出展料金を設定する。

その他、次のことを行う。

#### (1)SC 接客ロールプレイングコンテストについては、業界唯一のコンテストというブランド力構築のため、運営面のレベルアップ、広範な広報とともに支部大会エントリーのルール明確化や大会全体の審査の公明性・公平性をさらに追求する。

#### (2)告知及び販促については、各支部の運営委員会をはじめとした会議や各委員会開催時には必ず行う。また、ウェブサイト及び月刊誌を中心に最新情報をタイムリーに提供する。

② 計画概要について  
下記の通り承認された。

<p><b>会 期</b> 平成 23 年 1 月 19 日(水)～21 日(金)</p> <p><b>会 場</b> パシフィコ横浜</p> <p><b>参加予定者</b> 会員企業を中心としたSCディベロッパー、テナント(専門店)、大手小売業、SC 関連企業、官庁、関連団体の方々、約 36,000 名(シンポジウム・セミナー 約 2,000 名、SC 接客ロールプレイングコンテスト 約 2,000 名、ビジネスフェア 約 32,000 名)</p> <p><b>主 催</b> 社団法人 日本ショッピングセンター協会</p> <p><b>後 援</b> 経済産業省、国土交通省、農林水産省、中小企業庁、横浜市 日本経済新聞社、織研新聞社、日本繊維新聞社 (順不同)</p> <p><b>協 賛</b> 日本商工会議所、日本小売業協会、全国商工会連合会、日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、(社)日本専門店協会、(社)日本フランチャイズチェーン協会、(社)日本セルフ・サービス協会、(社)日本ボランティア・チェーン協会、日本スーパーマーケット協会 (社)日本フードサービス協会、全国地下街連合会、(社)不動産協会、(社)日本ビルディング協会連合会、全国商店街振興組合連合会、協同組合連合会日本専門店会連盟、 (社)商業施設技術者・団体連合会、(社)日本商環境設計家協会、(財)流通システム開発センター、(財)店舗システム協会、(社)再開発コーディネーター協会 (順不同)</p> <p><b>主な公式行事</b> 開会式(19 日午前)、懇親パーティ(19 日夕刻) ビジネスフェア出展者交流パーティ(20 日夕刻) ロールプレイング表彰式、閉会式(フェアウェルパーティ)(21 日夕刻)</p>		
<p>●シンポジウム・セミナー</p> <p><b>会期</b> 平成 23 年 1 月 19 日(水)～21 日(金)</p> <p><b>会場</b> 会議センター</p> <p><b>参加予定者</b> 約 2,000 名</p> <p><b>メモ</b> 厳しい商業環境において、SC業界が更なる発展を遂げるため、関係者の研鑽と交流を図ることを目的に開催。</p>	<p>●SC接客ロールプレイングコンテスト</p> <p><b>会期</b> 平成23年1月21日(金)</p> <p><b>会場</b> 会議センター</p> <p><b>見学予定者</b> 約2,000名</p> <p><b>メモ</b> 支部大会を勝ち抜いた接客のスペシャリストが集い、“接客日本一”を決定する販売・飲食・サービス業界スタッフ対象のコンテスト。</p>	<p>●ビジネスフェア</p> <p><b>会期</b> 平成 23 年 1 月 19 日(水)～21 日(金)</p> <p><b>会場</b> 展示ホール AB</p> <p><b>来場予定者</b> 約 32,000 名</p> <p><b>メモ</b> 会場(10,000 m<sup>2</sup>を予定)にSC関連企業がブース(予定小間 400)を構える企業交流のためのフェア。</p>

③ 第 36 回以降の方向性について

第 36 回以降の方向性を検討するに当たり、全国大会推進本部の小委員会を設置し、素案を作成する。それをもとに次回討議することとなった。

なお、小委員会の概要については下記の通り。

委員構成 各実行委員会より 2 委員計 6 委員、中堅層を中心に選抜する。人選は本部長一任とする。

スケジュール 2 回程度開催し、次回推進本部会に提案する。

検討事項 中長期の視点に立った全国大会のあるべき姿。

(2) 第 2 回本部会<10 月 8 日>

①第 35 回(2011 年 1 月)全国大会各実行委員会実施概要

②第 36 回(2012 年 1 月)の日程及び会場案

③第 37 回(2013 年 1 月)以降の方向性

(3) 第 3 回本部会<3 月 4 日>

①第 35 回(平成 22 年度)日本ショッピングセンター全国大会総括

a. 事業報告

去る 1 月 19 日(水)~21 日(金)に開催した、『第 35 回日本ショッピングセンター全国大会』(パシフィコ横浜)は、「シンポジウム・セミナー」参加者は 10 講座と初日の懇親パーティーを含めて 2,000 名(目標:2,000 名、前回:2,000 名)、「SC 接客ロールプレイングコンテスト」見学者は 2,000 名(目標:2,000 名、前回:1,800 名)、「SC ビジネスフェア 2011」入場者は 32,400 名(目標:30,000 名、前回:29,800 名)、延べ 36,400 名(目標:34,000 名、前回:33,600 名)の参加を得、成功裡に終了した。

b. 収支見込み

収支予算 30,027 千円に対し、収支決算見込み 35,099 千円で予算に対し 5,072 千円のプラスであった。

②第 36 回(平成 23 年度)日本ショッピングセンター全国大会計画案

a. アウトライン案

・各事業別日程について

・シンポジウム・セミナー 平成 24 年 1 月 18 日(水)~20 日(金)

・SC 接客ロールプレイングコンテスト 1 月 20 日(金)

・ビジネスフェア 1 月 18 日(水)~20 日(金)

・会場・パシフィコ横浜について

b. 予算案

c. 年間スケジュール案

③ 第 37 回日本ショッピングセンター全国大会の方向性

a. 経過報告

b. 第 37 回日本ショッピングセンター全国大会の方向性の再提案

## 9. シンポジウム・セミナー実行委員会

### 1. 委員会開催状況および審議事項

#### (1) 第1回委員会<7月8日>

- ①委員の増員
- ②参加料の見直し
- ③プログラム企画・作成に当たり、下記の基本方針に沿って企画・作成
- ④キーワード、プログラム全体の枠組み、初日の基調講演のテーマ・講師案を検討

#### (2) 第2回委員会<9月9日>

- ①プログラム案及び進捗状況
- ②販促案策定
- ③大会当日の運営

#### (3) 第3回委員会<2月18日>

- ①第35回ショッピングセンター全国大会シンポジウム・セミナー総括
- ②第36回ショッピングセンター全国大会シンポジウム・セミナー計画案

### 2. 主な活動報告

#### (1) 会場、期日

- ①会場 パシフィコ横浜 会議センター
- ②期日 2011年1月19日(水)～21日(金)

#### (2) プログラム

- ①統一テーマは前回に引き続き「逆境を好機に」とした。
- ②プログラムは、下記の基本方針に沿って企画・作成した。
  - ・企画に当たり、現状分析やSC業界の当面の課題などキーワードの検討に時間をかけ、これを企画に当たり共有。
  - ・講師候補は各支部、各SCタイプなどバラエティに富んだ選択肢から選抜する。結果、新たな参加者を呼び込む契機とする。
  - ・34回で特に顕著だった3日目の参加者減をストップするため、3日目は33回以前と同様に分科会等の選択肢を増やす形をとる。
- ③3日目のプログラムについてはテーマを「まちづくりとSC」に特化した。

#### (3) 特記事項

- ①新設会員及び会員候補に対しては特別価格を設定した。  
3日目のプログラムについてはテーマを「まちづくりとSC」に特化したことにより、特別価格を設定した。対象は大学関連(大学教授、学生)、自治体、商工会議所、商工会など。参加を促進するため、1名あたり1コマ5,250円の設定をした。
- ②参加料の見直しについては、パーティーのみの参加料について検討を行い、現行の会員18,900円(会員外29,400円)から会員14,700円(会員外21,000円)に改訂した。

#### (4) 大会の結果

第35回ショッピングセンター全国大会シンポジウム・セミナー開催に当たって

は、7月8日、9月9日開催の実行委員会にて様々な課題を検討し、結果、有料参加者数は目標の740名を超え771名となった。（予算比31名増、34回の667名と比較すると104名増、16%増）その一方、パーティーのみの参加料を下げたことや新設会員向けの特別料金を設けた結果、参加料の単価を下げた。参加者増も単価減を吸収することができず、収支差の実績見込みは予算に対し約800千円のマイナスとなった。

# 10. 接客ロールプレイングコンテスト実行委員会

## 1. 委員会開催状況および審議事項

### (1) 第1回実行委員会<6月9日>

#### ①第16回大会の運営について

- ・対象外施設からの申し込みへの対応

参加資格として「SCの定義～SC取扱い基準～」をもとに、この条件にあてはまらない施設からのエントリーは原則としてお断りする。また、推薦枠を利用しての対象外施設からのエントリーは認めない。

ただし、複数の商業施設をまとめて館内予選会や選抜大会を実施している企業・団体については、内容をよく検討したうえ、実行委員長が判断する。これについては内規を作成する。

- ・全国大会の賞金について

優秀賞の賞金をなくし、上位の賞金を厚くする。

	16回	15回
大賞	30万円×1名	10万円×1名
優勝	10万円×2名	5万円×2名
準優勝	5万円×2名	3万円×2名
審査員長賞	3万円×1名	3万円×1名
優秀賞	記念品	2万円×28名
合計	63万円+記念品	85万円

- ・開催要領について

参加資格及び審査員構成、審査項目・得点配分、競技方法等は従来通りとする

#### ②ロープレ研修用DVDの制作について

ロープレ研修用DVDを制作するにあたり、専門審査員を担当する企業数社から企画案を提案していただき、制作を依頼する企業を決定

#### ③第17回大会以降に向けて

現状の問題点を洗い出し、第17回大会以降の方向性を検討する小委員会を設置

### (2) 第1回小委員会<7月1日>

#### ①支部大会運営の見直しについて

- ・参加者増への対応及びそれに伴う支部大会開催日増によるエリアの見直し
- ・参加料の検討
- ・参加枠の見直し

#### ②全国大会運営の見直しについて

- ・1日開催のための最適な全国大会出場者数の検討

#### ③競技方法(部門分け・競技時間)の見直しについて

### (3) 第2回小委員会<9月1日>

#### ①支部大会運営の見直しについて

- ・基本ラインを1日当たり50名とし、それを超えたら日数を増やす
- ・参加しやすい会場とするためにもエリア分けが必要
- ・基本的には参加料のUPは考えない
- ・ISCからの参加枠は将来的にはISC一律2名(各部門1名ずつ)とする

#### ②全国大会運営方法の見直しについて

- ・2日間開催はなし

- ・代表者数を28～32名とする
  - ・そのために予め各支部の支部代表者数を決めておく
  - ・支部代表者の選出方法は基本的に各支部大会の最終日に決定する
- ③ 競技方法(部門分け・競技時間)の見直しについて
- ・部門は「ファッション」「飲食・サービス」「その他物販」の3部門が理想的

(4) 第2回実行委員会<12月13日>

- ①第16回全国大会の運営について  
スケジュール、競技方法、審査方法等は議案通り承認された。賞については金額のアップが委員から提案され、全体的に底上げした。
- ②小委員会からの以下の提案に対しては引き続き検討することとなった。
- ・第17回大会での全国大会代表者数について
  - ・第18回大会以降の課題について
- ③第17回大会スケジュール案については議案通り承認された。

北海道支部大会	10月28日(金)	プラニスホール(札幌エスタ)
東北支部大会	11月21日(月)・22日(火)	ホテルメトロポリタン仙台
関東・甲信越地区大会	9月12日(月)～16日(金)	丸ビルホール(丸ビル7階)
東京地区大会	10月4日(火)～6日(木)	アリーナホール(玉川高島屋S・C西館)
中部支部大会	11月8日(火)～10日(木)	ウインクあいち(愛知県労働産業センター)
近畿支部大会	9月27日(火)～30日(金)	ホテル京阪京橋
中国・四国支部大会	10月18日(火)・19日(水)	広島YMCAホール
九州・沖縄支部大会	11月16日(水)・17日(木)	西鉄ホール(ソラリアステージ6階)
全国大会	2012年1月20日(金)	パシフィコ横浜

(5) 第3回実行委員会<3月4日>

- ①第17回大会の運営について以下のことが承認された。
- ・支部大会日数増について  
関東・甲信越、中部、近畿、中国・四国の支部大会開催日数を1日増やす。
  - ・支部代表者の選出について  
支部大会開催日数1日あたり1名とする。ただし、1日で両部門を実施する時は、各部門から1名を選出する。
  - ・支部大会表彰について  
表彰者の数を増やす。
  - ・全国大会審査方法について  
審査員10人の最高点と最低点をカットすることをやめる。
  - ・競技方法について  
「お迎えからお見送りまで」演技できるよう、客役の俳優を指導する。
  - ・その他
- ②平成23年度基本方針案、事業計画案、予算案について承認された。
- ③第18回大会以降の進め方について引き続き検討していくことが承認された。

## 2. 主な活動報告

- (1) 競技参加募集パンフレットの作成・発送、ホームページにて募集開始
- ・競技参加募集パンフレットを7月上旬に作成し、発送する。
  - ・ホームページにて7月上旬から参加の募集を開始する

(2) 協賛金の募集

・7月から協賛金の募集を開始し、最終的には66社112口5,600(千円)であった。

(3) 小委員会設置

諸課題をクリアするため小委員会を設置し、22年度は2回開催した。

(4) 支部大会開催結果

7支部8地区大会で894名参加(前年764名)。代表者数は41名(前年35名。前回今回ともに、うち1名は欠席)。

(5) 全国大会開催結果

見学者数…2,000名(昨年1,800名)

大賞・経済産業大臣賞				
青木 優香	クイーンズスクエア横浜	ビームスポーイ	(株)ビームス	関東・甲信越
ファッション・物販部門				
【優勝】				
江元 由美子	ジー・コレクション阪急宝塚	ギャラクシードリーム	(株)イケガミ	近畿
【準優勝】				
小菅 堅太	大船ルミネウイング	リーガルシューズ	(株)リーガルコーポレーション	関東・甲信越
食品・飲食・サービス部門				
【優勝】				
堀田 和将	アルパ	天空の庭 星のなる木	(株)銀座クルーズ	東京
【準優勝】				
鈴木 美代子	イオン苫小牧ショッピングセンター	柳月	(株)柳月	北海道
審査員長賞				
北林 英恵	ジョワ専門店	とんかつケイワイケイ	(株)曲田商店	近畿

# 11. SCビジネスフェア実行委員会

## 1. 委員会開催状況および審議事項

### (1) 第1回委員会<4月7日>

- ① SCビジネスフェア2010 総括
- ② SCビジネスフェア2011 事業計画(骨子)
- ③ 出展者へのヒアリング結果について
- ④ 出展募集活動の進め方について

### (2) 第2回委員会<6月16日>

- ① 委員会、及び全国大会推進本部会の開催報告について
- ② SCビジネスフェア2011の開催概要について
- ③ 出展募集活動計画について
- ④ 出展募集活動スケジュールについて
- ⑤ 出展募集状況について
- ⑥ 今後の出展募集の進め方について

### (3) 第3回委員会<9月3日>

- ① 委員会、及び全国大会推進本部会の開催結果について
- ② 出展募集活動状況について
- ③ 今後の出展募集活動について
- ④ 会場内のゾーニングについて
- ⑤ 併催イベントについて
- ⑥ 出展者説明会について

### (4) 正副委員長会議<10月25日>

- ① 第35回日本SC全国大会 SCビジネスフェア2011の小間レイアウトについて

### (5) 第4回委員会<11月11日>

- ① 委員会、及び全国大会推進本部会の結果報告について
- ② 出展募集状況について
- ③ ブース・レイアウトについて
- ④ 来場者募集活動(案)について
- ⑤ 併催イベントについて
- ⑥ 出展者プレゼンテーションの実施(案)について
- ⑦ オープニング・セレモニーの実施(案)について
- ⑧ ブース賞の実施(案)について
- ⑨ 出展者交流パーティーの実施(案)について

### (6) 第5回委員会<2月17日>

- ① 第35回日本SC全国大会 SCビジネスフェア2011の開催結果について
- ② 来場・流動調査結果について
- ③ 収支見込について
- ④ 第36回日本SC全国大会 SCビジネスフェア2012の事業計画(骨子)案について
- ⑤ 出展募集活動スケジュール骨子(案)について

## 2. 主な活動報告

### SCビジネスフェア2011開催結果

#### ① 開催日時

2011年1月19日(水)～21日(金)

1月19日(水) 11:30～18:00

1月20日(木) 10:00～18:00

1月21日(金) 10:00～17:00

#### ② 会場

パシフィコ横浜 展示ホール A・B(10,000 m<sup>2</sup>)

#### ③ 出展者

ゾーン	2011 (横浜)		2010 (横浜)	
	出展者数	出展小間数	出展者数	出展小間数
ディベロッパー	46	128	44	128
テナント	60	97	57	85
関連企業	72	108	70	106
環境	23	44	24	46
合計	201	377	195	365

#### ④ 来場者

(人)

	2011年 来場者数	2010年 来場者数
初日	9,900	9,800
2日目	11,500	11,000
3日目	11,000	9,000
合計	32,400	29,800

#### ⑤ 出展者交流パーティー

1月20日(木) 18:20～19:45 参加者540名(前回530名)

#### ⑥ 出展者パネルディスカッション&プレゼンテーション

20講座 総参加者数2,329人

#### ⑦ ブース賞

##### ■ ディベロッパーゾーン ■

金賞 東急グループ

銀賞 JR東日本グループ

銅賞 大阪駅北地区先行開発区域プロジェクト

■テナントゾーン■

金 賞 エストインターナショナル

銀 賞 BUDDYZ

銅 賞 アットアロマ

■関連企業・環境ゾーン■

金 賞 東邦レオ

銀 賞 東京ガス

銅 賞 グリーンディスプレイ

◆特別賞◆

テナントゾーン

あそびの学校

関連企業・環境ゾーン

丸紅テクノシステム&ピーディーシー

(敬称略)

# SC 経営士会

## 1. 会議の開催状況及び審議事項

### (1) 総会<4月23日>

- 第1号議案 2009年度事業報告について
- 第2号議案 2009年度収支報告について
- 第3号議案 会員の入退会報告について
- 第4号議案 2010年度事業計画(案)について
- 第5号議案 2010年度事業予算(案)について
- 第6号議案 2010年度組織改正・役職変更(案)について
- 報告事項1 SC経営士会2009年度「提言」について
- 報告事項2 SC環境対策ガイドラインについて  
(SC協会と共同策定)

### (2) 幹事会

#### 1) 第1回幹事会<4月20日>

- 議案1. 2010年度総会の開催について
- 議案2. 2010年度総会終了後のセミナー及び意見交換会の開催について
- 議案3. 2010年度年間事業スケジュールについて
- その他 日本ショッピングセンター協会からの連絡事項

#### 2) 第2回幹事会<6月10日>

- 議案1. 2010年度事業計画の詳細について
- 議案2. 2010年度事業の進捗状況について
- 議案3. 2010年度年間会議等スケジュールについて
- その他 日本ショッピングセンター協会からの連絡事項

#### 3) 第3回幹事会<9月22日>

- 議案1. 2010年度事業計画の進捗状況について
- その他 ①SCビジネスフェア2011について  
②日本ショッピングセンター協会からの連絡事項

#### 4) 第4回幹事会<12月9日>

- 議案1. 2011年度経営士会組織・運営改革骨子について(案)
- 議案2. 2011年度役員候補選出方法について(案)
- 議案3. 2010年度事業の進捗状況について
- 報告事項①2011年度冠講座について  
②SCビジネスフェア2011でのSC経営士会ブース運営等について
- その他 日本ショッピングセンター協会からの連絡事項

#### 5) 第5回幹事会<3月23日持回り開催>

- 議案1. 2011年度役員候補選出について(案)

## 2. 主な活動報告

2010年度の統一テーマである“時代変化への積極的な対応－活動の充実と情報発信”を具体化するため、ブロック活動及び委員会活動に取り組んだ。

### (1) ブロック活動

2009年度に構築したブロック活動ネットワークを活かし、SC経営士同士の交流、勉強会、視察研修会等を各ブロックで積極的に実施した。また、SCビジネスフェア 2011のパネルディスカッションではSC経営士による積極的な発言が多数の参加者に注目された。

- |           |                 |   |
|-----------|-----------------|---|
| 北海道ブロック   | 6月23日(水)        | 第1回ブロック会議                                       |
|           | 7月15日(木)～16日(金) | 札幌視察会(関東甲信越と共催)                                 |
|           | 11月25日(木)       | 第2回ブロック会議                                       |
| 東北ブロック    | 2月3日(木)～4日(金)   | 地域活性化SC「あおもり旬味館」&「A-F ACTORY」青森再発見と意見交換会＋地吹雪ツアー |
| 関東甲信越ブロック | 7月15日(木)～16日(金) | 札幌視察会(北海道と共催)                                   |
|           | 10月28日(木)       | セミナー「世界におけるショッピングセンターの役割」                       |
|           | 11月11日(木)       | 駅ビル、エキナカ勉強会<br>テーマ:首都圏駅ビル・エキナカの現状と課題            |
|           | 1月19日(水)        | ビジネスフェア SC経営士会パネルディスカッション                       |
| 中部ブロック    | 11月18日(木)       | ららぽーと磐田視察会(まちづくり委員会共催)                          |
| 近畿ブロック    | 7月26日(月)        | 第1回研修会「SCはまちに何をもたらしたか」                          |
|           | 11月22日(月)       | 第2回研修会「SCを商店街はどう考えるか」                           |
| 中国・四国ブロック | 12月20日(月)       | 研修会「中国8大都市・商業施設NOW」                             |
| 九州・沖縄ブロック | 1月28日(金)        | 情報連絡会   |

### (2) 委員会活動

#### ①能力向上委員会

「転換期のSCマネジメントの方向を探る」をテーマとし、会員相互の能力向上に資する活動を実施した。

セミナー開催 第1回 8月3日(火) テーマ:リニューアルに関わる「コンストラクション・マネジメント」

講師:原品康二氏

(イースト・フィールド・ソリューションズ(株)代表取締役)

第2回 10月18日(月) テーマ:「“売れるということ”の見直しと実践」

講師:河崎友彦氏(MDドクターK 代表)

第3回 2月23日(水) テーマ:「SC管理運営の実務」

講師:岡村実氏

(東日本旅客鉄道(株) 事業創造本部 大規模開発部門 次長)

また、SC協会が実施した2大学(関西学院大学、青山学院大学)の冠講座に講師を派遣し

た。

さらに、これらのセミナー、講座等の成果を報告書や提言にまとめた。

#### ②まちづくり委員会

「SC とまちづくりのあり方」に関する意見交換会やセミナー等を開催した。

SC 視察会の開催 ららぽーと磐田視察会(中部ブロック共催)

セミナー開催 第1回 1月25日(火) テーマ「SCと商店街の協働によるまちづくり・地域活性化」

講師:桑島俊彦氏(全国商店街振興組合連合会理事長・(株)全国商店街支援センター代表取締役)

第2回 3月8日(火) テーマ「まちづくりの現況と課題」

講師:上原征彦氏(明治大学ビジネススクール 教授)

#### ③広報委員会

今年度の統一テーマである“活動の充実と情報発信”を具体化するために、Webの活用を基本とした会員へのタームリーな情報発信、ホームページの充実、研究会の結果・会員論文の発信などの広報活動に取り組んできた。ホームページの全面的な改定は終了したが、情報の提供が不足している等の問題があり、仕組みが十分に活用されていない課題が残った。

#### ④業務推進委員会

SC経営士会事業の円滑な運営と執行のため、全体調整や事業進捗状況の管理、予算の執行状況の管理、組織の見直し、協会との調整等を行った。

#### ⑤「提言」のフォローアップ

昨年の総会において承認された経営士会の「提言」については、5月にSC協会に正式に提出され、総務委員会において検討された結果、協会内に新たにまちづくり委員会を設置、検討する方向で具体化されることとなった。

#### (3) 協会との連携事業

①SC 全国大会ビジネスフェアでは、パネルディスカッションを開催。また、ビジネスフェア出展実行委員会を組織し、ブース内でSC経営士同士の交流を図るとともに、2回目となるSC経営士試験受験相談を開催した。

②協会の要請に基づき、冠講座の講師の派遣を行った。

#### (4) SC協会会議(理事会、企画会議)への出席(仁科会長他)

- ・第1回理事会 5月20日
- ・第2回理事会 7月27日
- ・第3回理事会 10月26日
- ・第4回理事会 3月29日
- ・第1回企画会議 4月26日
- ・第2回企画会議 7月16日
- ・第3回企画会議 10月18日
- ・緑陰トップフォーラム 7月21日～22日